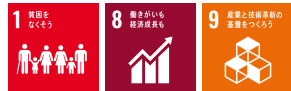


要請番号 (SL32425D01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラグアイ	D235 自動車整備		個別	新規 2代目	2年	・2026/2・2026/3・ 2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・科学省

2) 配属機関名（日本語）

カルロス・アントニオ・ロペス職業訓練センター・工業高校

3) 任地（アスンシオン市） JICA事務所の所在地（アスンシオン市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩 で 約 0.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1948年設立、1979年に日本政府の無償資金協力により校舎が建設された。2007年にはパラグアイの労働市場の現状・ニーズにあった技能者育成、国際競争力強化を目的に無償資金協力により施設が増設、機材が供与された。職業訓練コース9科(昼間1年又は夜間2年制/電気、電子、工作機械、冷凍機器、自動車整備、建築、木工等)に工業高校6科(3年制/情報、電子、自動車整備、建築、電気、工作機械)が併設されており、卒業生の90%以上は国内の様々な機関で活躍している。現在、2024-2次隊で工作機械のシニア海外協力隊(以下SV)が活動中。教職員約70名、生徒数約700名(2024年12月月現在)。2026年度中に電気・電子機器SVも着任予定。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

1991年から始まった本配属先へのJICA海外協力隊派遣はこれまでで約40名に及び、国内の工業分野の人材育成に大きく寄与してきた。職業訓練コースの自動車整備科は約50名の学生(昼間部1年制約25名、夜間部2年制約25名)が在籍し、理論・実習併せて1700時間のカリキュラムに基づき指導を行っている。また、3年制の工業高校自動車整備科にも80名程度(1～3年生、各学年25名程度)が在籍している。教員の中には日本での研修経験者もあり、これまでのJICA海外協力隊派遣により一定程度の技術を持っている者もいるが、さらなる指導力の向上や実習内容拡充等のため本要請がなされた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

主に職業訓練コースを対象に、自動車整備科の同僚と共に以下の活動を行う。

- 1、自動車の電子制御技術や電子制御燃料噴射装置(ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン)に関する指導・実習の支援
- 2、オシロスコープ、故障診断機、オバシメーター(光透過式黒煙測定器)を用いた指導・実習の支援
- 3、電気・電子回路図の読み方に関する指導・実習の支援
- 4、現行モデル自動車の故障診断に関する指導・実習の支援

活動時間:8:00～15:00(月～金)予定

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ガソリンエンジンシミュレーター(トヨタ・ヒュンダイ)、ディーゼルエンジンシミュレーター(トヨタ・ヒュンダイ)、スピード・速度計複合試験機(バンザイ)、故障診断機(LAUNCH)、2柱リフト3機

4) 配属先同僚及び活動対象者

・主任教員 男性60代 経験29年

- ・主任以外の自動車整備科教員 5名(職業訓練コース、工業高校コース合計)
- ・生徒 職業訓練コース(昼間、夜間 各25名程度)、工業高校(3年制、各学年25名程度)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士以上) [学歴]：() 備考：
[性別]：() 備考： [経験]：(実務経験) 15年以上 備考：実践的な技術と知識が必要なため

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：(温暖湿潤気候) 気温：(0～40℃位) [電気]：(安定)
[通信]：(インターネット可 電話可) [水源]：(安定)

【特記事項】

本件は、グループ派遣ではないものの、同配属先に派遣されているSVとの協働も期待されています。

【類似職種】